

講師プロフィール

中島 幸子 (なかじま さちこ)さん (NPO 法人レジリエンス代表)

DVコンサルタント、ソーシャルワーカー、米国法学博士、大学非常勤講師。DVに被害にあった経験がきっかけとなり勉強を始め、2003年に女性のための「こころのcare講座」をスタートさせ、「レジリエンス」を結成。同年、米国ソーシャルワーク修士号取得。全国各地で毎年多数の講演を行う。

主な著書に、「傷ついたあなたへ<1>、<2>」(梨の木舎、2005、2010)、「DV・虐待 加害者の実体を知る」(共著、明石書店、2008)、「性暴力：その後を生きる」(レジリエンス、2011) など。

渡辺 久子 (わたなべ ひさこ)さん(慶応義塾大学医学部小児科外来医長)

乳幼児・児童・思春期精神科医。1976年より小児療育相談センター児童精神科勤務。老人リハビリテーション友愛病院ロンドン、タビストック・人間関係センター臨床研究員を経て、1993年より現職、98年より外来医長。専門は小児精神科医学、精神分析学、乳幼児精神医学。被虐待児、自閉症、PTSDなど、問題を抱える子供の治療と支援に取り組む。東京都小児精神障害審査委員、世界乳幼児精神保健学会副会長。NPO法人精神保健を考える市民の会「まいんどくらぶ」理事長。

主な著書に、「子育て支援と世代間伝達—母子相互作用と心のケア」(金剛出版、2008)、「抱きしめてあげて—育てなおしの心育て」(太陽出版、2005)、「虐待気づくべきこと、できること：保健室・医師・弁護士・臨床心理士・NPOから」(農文協、2005、共著)など。

田村 伴子 (たむら ともこ)さん (NPO 法人全国女性シェルターネット東京ブロック)

都内男女共同参画センターで10年間、相談コーディネートやグループワークの企画・実施に携わる。NPO 法人全国女性シェルターネット東京ブロックのDV被害者支援の団体で、相談や自立支援に向けたプログラムを開発・実施。中央大学ハラスメント防止啓発支援室嘱託カウンセラー。東京都配偶者暴力対策ネットワーク会議委員、「暴力を生まない、引き継がない 安全・安心なまちづくりのための連携事業検討会」(内閣府平成23年度地域における男女共同参画促進総合支援事業)を主催するなど、民間団体の活動や被害者の自立支援について詳しい。

平成 24 年度 配偶者暴力 (DV) 防止講演会 (2月9日)

「DV の深刻な影響～見えにくい精神的暴力と被害～」 申 込 書



東京ウィメンズプラザ 事業推進係行

FAX 03-5467-1977

送信日： 月 日

ふりがな 氏名			
所属			性別
連絡先	TEL : E-Mail :	FAX : @	
保育 (1歳以上 未就学児まで)	○をお付けください		保育を希望されるお子様について
	・希望する	・希望しない	ふりがな 氏名 () 年齢 (歳 ヶ月)
参加動機・講師への質問があればご記入ください。			

* 個人情報は、講演会の運営目的のみに使用し、他の目的で使用することはありません。



リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。再生紙を使用しています。